

# 骨密度測定装置 DXA 法

現在、**骨粗鬆症の診断**および治療効果の判定に最も多く使用されているDXA法（デキサ法：二重エネルギーX線吸収測定法）を用いた骨密度測定装置です。



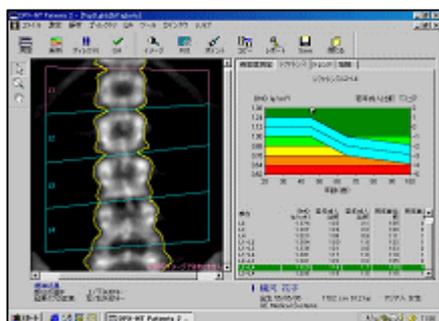
GE 社製 X線骨密度測定装置

DPX-BRAVO

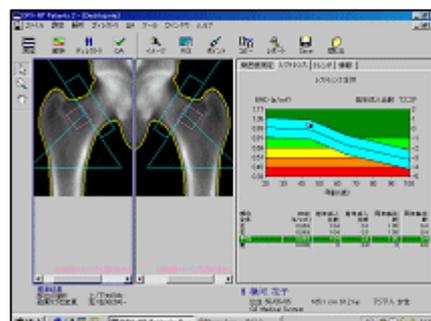
50 ミクロン読取可能な高精細読取装置です。



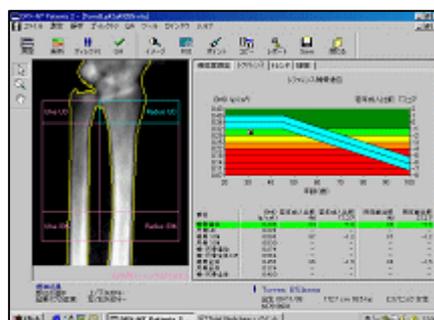
骨密度解析装置



腰椎



股関節



手関節

【測定部位】

腰椎正面、大腿骨、前腕骨の骨密度を測定します。

【検査の特徴】

- 検査は、約 10 分以内で行えます。
- 被検者のポジショニング時に便利なスイングアーム機能を採用しています。
- 腰椎正面、大腿骨、Dual Femur、前腕骨などの豊富なアプリケーションソフトウェアを備えています。
- OneScan 機能により脊椎・大腿骨を同時に高速測定が可能です。
- X 線照射の際、拡大誤差がない低被曝のスマートビーム方式を採用しています。